

地域医療連携だより

2025年1月号 第44号



ドクターのお仕事体験（みんなの病院文化祭より）

Topics

- 診療科紹介 循環器内科
- ホスピタルアート「いのちのたね」
- 国際骨粗鬆症財団（IOF）より『Bronze』（銅賞）認定
- 第14回 高松市立病院学会を開催しました

診療科紹介

循環器内科

『みんなで守る心臓の安心』—冬季心不全シーズン到来に備えて—

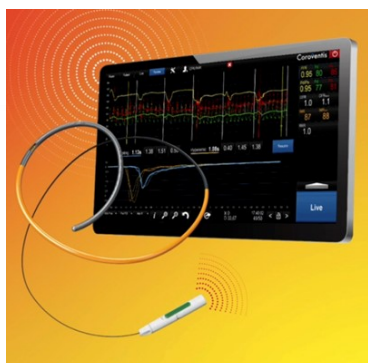
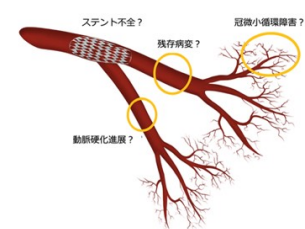
私たち高松市立みんなの病院循環器内科は、地域の皆様の心臓血管疾患の**予防・治療・再発防止**に全力で取り組んでいます。2025年4からは常勤医師（冠野・藤原）の2名体制となり、寄付講座助教の伊藤を加えた**計3名の医師陣**が入院診療に当たるなど、診療体制を一層強化しました。



近年は猛暑が続いていますが、**冬場は循環器疾患が増加**する季節です。息切れや下腿浮腫、体重増加といった心不全症状、あるいは胸痛の増加が見られる患者さまがおられましたら、早めに当科へご相談ください。

当科の入院症例は心不全が多く、平均年齢は80歳前半と高齢で、複数の慢性疾患を合併する「多疾患併存（マルチモビディティ）」の患者さまが多いことが特徴です。こうした患者様に対しては、生活環境まで含めて一人一人に最適な医療・ケアを提供するため、**多職種で構成する心不全チーム**を設けています。このチームが定期的に回診し、患者さまそれぞれの状態に合わせた最良の医療とケアを実践しています。

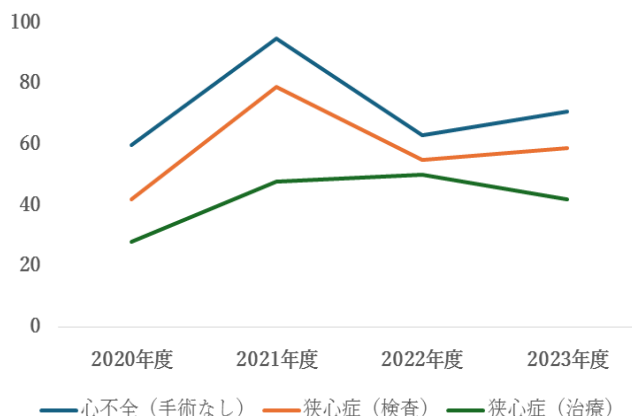
冠動脈疾患診療では、近年注目される「冠微小血循環障害／微小血管狭心症（CMD）」の診断が可能です。従来のカテーテル検査では診断できなかった胸部違和感などに対し、アセチルコリン負荷試験やガイドワイヤーを用いた評価を行い、より正確な診断につなげます。これらは国内外のガイドラインでも推奨される検査法です。



<Abbott社ホームページより参照>

年間約50件の心臓・下肢動脈カテーテル治療、約20件のペースメーカ植込術を実施しており、**急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル検査・治療**にも対応しています。紹介いただいた患者さまは迅速に受け入れ、退院後はかかりつけ医の先生方と緊密に連携して在宅療養を支援します。

当科入院患者数 診断分類別上位3疾患の推移



私たちは**予防から急性期、慢性期まで切れ目のない循環器診療**を提供し、地域の心血管疾患における**健康寿命の延伸**に貢献します。診療・検査に関するご相談は、お電話や地域医療・患者支援センターまでお気軽にお知らせください。

（文責 藤原 美佳）

外来担当表

	月	火	水	木	金
午前 受付・診療／ 8～11時	伊藤 浩敬	山田 博胤 冠野 昂太郎	藤原 美佳	高松赤十字病院 医師	徳島大学医師
午後 受付・診療／ 13～16時	診療科へお問い合わせください				

ホスピタルアート「いのちのたね」

10/25（土）の病院文化祭に向けた事前制作として、NPO法人コミュニアルにご協力いただき、病院の窓に「いのちのたね」を施しました。外から見ると、たねがつながり息吹きのような形を成し、間近で見るとひとつひとつに個性が凝縮されています。

文化祭当日は、多くの方にワークショップに参加していただき、「いのちのたね」をパワーアップさせることができました。

